

「主の祈り」：喜びをもって福音を「生きる」ための祈り

片山はるひ（ノートルダム・ド・ヴィ）

Youtube チャンネル <動画 『主の祈り（1）と（2）』 2019.9.28 と 11.30>

1) 主の祈り「全福音を要約する祈り」(『カトリック教会のカテキズム』(カテ：2761))

- ・すべての聖書は、キリストにおいて完成された。

福音とは、その「よい知らせ」。福音は、マタイの山上の説教（生き方についての教え）に要約されている。

だから、「主の祈り」は、この福音の核心。(カテキズム 2763)

→「主の祈り」は、山上の説教とのかかわりの中で理解する必要がある。

2) 新しい誕生のための祈り

- ・洗礼と堅信において、「主の祈り」は、神のいのちへの新たな誕生を意味する。

♪最高の Birthday present ♪

★十字架のシンボル、縦の線→父である神と人を結ぶ線、横の線→人と人を結ぶ線。

中心には父である神の御子、イエス・キリスト。

3) 「アッバ、父よ！」 イエスの祈り (カテ：2766、2799-2793)

- ・「放蕩息子のたとえ」ルカ 15 章、関係性の物語、

限界無き、境界なき神の愛。「わたしたちの父に祈るならば、わたしたちの心は、キリストのうちに現された神の愛の限りない広さに向けて解き放たれます。(…) 恐れずにわたしたちの父ということばを使っていれば、この神の思いがわたしたちの祈りに愛の大きな包容力を与えてくれるはずです」(カ 2793)

- ・霊において貧しい人→ただ神により頼む人、自分の貧しさを知る人は幸い」(マタイ 5-3)

→幼子のようなもの(マタイ 11-28)

「わたしにとって、祈りとは、心のほとばしりです。天に向ける素朴なまなざしです。苦しみの時にも、喜びのときにも、天に向けてあげる、感謝と愛の叫びです。」リジューの聖テレーズ (カ 2558)

4) 「天におられる父」(カテ：2794)

・「天」とは、場所(空間)ではなく、存在様式(在り方)を意味する。神とのへだたりではなく！、神の偉大さを現す。神はわたしたちの心に住んでおられる。

ヨハネ 14-23「わたしを愛する人は、わたしの言葉を守る。わたしの父はその人を愛され、父とわたしとはその人のところに生き、一緒に住む」

「私は地上に天国を見出しました。天、それは神ご自身であり、神は私のうちにおられるのです。」 三位一体のエリザベト。『いのちの泉へ』 p.18

5) 7つの願い、7つの賛美

はじめの3つは神に向けられたもの。み名、み国、み心、とわたしたちを御父へと向かわせる。まず、愛するもののことを思うのが、愛の特徴。

この願いは、わたしたちを神へと、かかわらせてゆく願い。

6) み名が聖とされますように (カテ：2807－2815)

→み名が聖と認められますように、名とはその存在そのもののこと。イエスはわたしたちに御父の名を「表される」。

・み名が諸国民（人々の間）で聖と認められるということは、わたしたちの生活（行い）と祈りに深くかかわっている。→山上の説教で示された生き方と祈り

7) み国が来ますように。(カテ：2816－2821)

み国（バシレイア）とは、場所（空間）ではない。王であるキリストによる支配。

→神の国は、神のいつくしみと愛が人の世に浸透すること。神からの正義と平和、そして救いが全世界に実現すること。

8) み心が、(…) おこなわれますように。(カテ：2822－2827)

み心とは？ →すべての人の救い、神のいつくしみの計画。

・わたしたちの望みを御子の望みにあわせてくださるように、との願い。祈りの中で、何かが神のみ心であるかを判断し、み心を行うための忍耐を得る。「私たちはキリストと一致することにより、キリストとただ一つの霊となって、キリストの心を心とすることができます。み心が天に行われるとおり地にも行われることになるのです」（オリゲネス）

9) 「わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください」(カテ：2828－2836)

信頼への呼びかけ（不安、心配からの解放 →マタイ 6、25、7、7）、人類家族との分かち合い・連帯へのよびかけ。

生きるに必要なすべての物的、霊的善（神のことば、聖体、聖霊も含む）

ルカ 11 「このようにあなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は、求める者に聖霊を与えてくださる」

10) 「わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします」(カテ：2838－2845)

- ・見える兄弟を愛せずに、見えない神を愛することはできない。(1 ヨハネ 4、20)
- ・ゆるしは、キリスト教の祈りの頂点。
- ・ゆるすためには、聖霊を、神からの愛と力を求めねばならない。

11) 「わたしたちを誘惑に陥らせず、悪からお救いください。」(カテ：2850－2854)

- ・信仰の戦い。 → 連帯への呼びかけ。

「聖徒の交わり」：善においても、悪においても交わっているわたしたちの相互依存。悪（魔）から解放されるようにと祈りつつ、現在、過去、未来のあらゆる悪から解放されるようにと祈る。

参考図書

- ・『カトリック教会のカテキズム』カトリック中央協議会、pp.803-835.
- ・『カトリック教会の教え』カトリック中央協議会、pp.433-437.
- ・教皇フランシスコ『十戒・主の祈り 教皇講話集』カトリック中央協議会
Pape François, *Quand vous priez, dites Notre Père*, Bayard Editions 2018